

環境パートナーシップ・CLUB

# EPOC

ENVIRONMENTAL PARTNERSHIP ORGANIZING CLUB

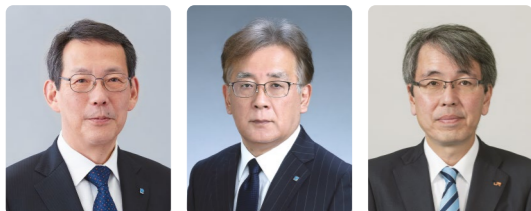
未来につながる、明日をつくる。



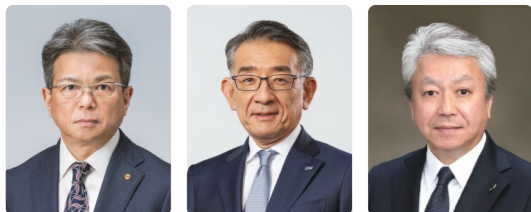
## ごあいさつ



環境パートナーシップ・CLUB  
会長 有馬 浩二  
(株)デンソー



副会長 小林 茂 副会長 山崎 聡志 副会長 石橋 学  
日本ガイシ(株) 東邦ガス(株) 東海旅客鉄道(株)



副会長 宮崎 洋一 副会長 池田 和史 副会長 佐々木 敏春  
トヨタ自動車(株) ブラザー工業(株) 中部電力(株)

環境パートナーシップ・CLUB(EPOC)は、中部圏の産業界が中心となって、「世界に誇れる環境先進地域の形成」と「安全かつ快適な循環型経済社会の構成」を目的として、2000年に設立しました。

設立から四半世紀にわたり、環境課題に真正面から向き合いながら、ISO14001の普及支援、愛知万博での循環・省資源の実証、COP10における生物多様性への企業参画、ESDユネスコ世界会議での次世代育成など、時代の潮流を先取りし、環境マネジメントの普及、先進的な取組の共有、地域・行政・次世代との協働といった現場に根ざした活動を進めてきました。

その原動力となってきたのが、会員企業が現場で磨き続けてきた省エネ、ムダの削減、再利用・再生などの実践知＝「環境のわざ」であり、これは単なる知識や理念ではなく、現場で工夫を重ねて生み出された「使える技術力」そのものです。そして、こうした「環境のわざ」を持ち寄り、高め合ってきた「つながり」こそが、EPOCの力の源泉である「パートナーシップ」で、これらを最大限に活かして、持続可能な経済社会を実現することがEPOCの2030年ビジョンとなっております。

2026年、世界は今、サステナビリティ経営が「宣言の時代」から「実践の時代」へ移行する転換点であり、EUのCBAM(炭素国境調整メカニズム)本格施行や各国の排出量取引制度の義務化が企業活動にも実質的な影響を及ぼし始める節目の年となります。すでに多くの企業がカーボンニュートラル(CN)への取り組みを進めておりますが、2050年の持続可能な社会を見据えると、資源制約や生態系の劣化への対応が不可欠となり、サーキュラーエコノミー(CE)とネイチャーポジティブ(NP)の重要性が一段と高まっています。

こうした認識のもと、EPOCは設立25年を経て、2026年を「次の四半世紀のスタート」と位置づけ、活動を加速させます。CN・CE・NPを三位一体で統合的に実践することが、企業の真の持続可能性を確保できると私たちは考えているため、CN・CE・NPの実践に向けた「機会創出」と「共創の場づくり」を一層強化します。

企業が抱える課題に対する理解と対応力を高めるため、現場に根ざした視察や専門的なセミナー、最新動向を共有するフォーラム、会員企業同士による事例紹介や勉強会を推進し、技術革新とイノベーションの創出を後押しします。さらに、愛知環境賞への支援、学生向け環境学習・出前講義などの交流を通じて、取り組みの裾野を広げ、地域・行政・次世代とのつながりを強化していきます。

EPOCはこれからも会員企業とともに、こうした多種多様な活動を通じ、技術と挑戦の力でCN・CE・NPを実践し、持続可能な環境循環型社会を実現する役割を果たし、世界に誇れる環境先進地域の実現を牽引すべく、活動を推進していきます。皆様には、今後も一層のご支援と引き続き活動への積極的なご参加を賜りますようお願い申し上げます。

環境パートナーシップ・CLUB 会長 **有馬 浩二**

## 設立の目的

産業界の環境オピニオンリーダーが中心となり、エコ・エフィシェンシー(環境効率性)の実現を追求するとともに、中部圏から環境対応に関するさまざまな情報を発信し、世界に誇れる環境先進地域の形成と安全かつ快適な「循環型経済社会」の構築を目指します。

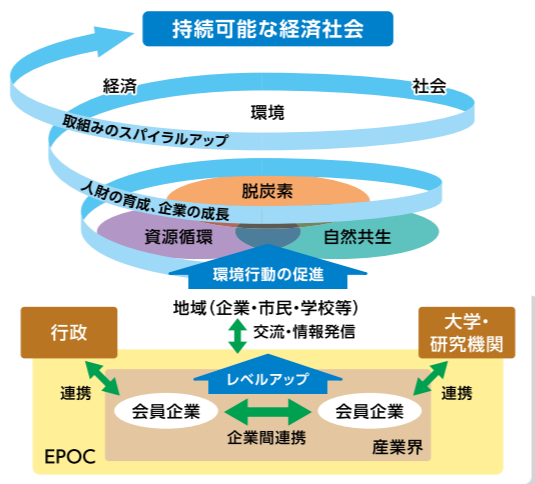
- 環境行動の社会への浸透活動
- 環境マインドに溢れた社会風土づくり活動
- 環境行動に関する情報発信活動
- 環境行動に関する国際交流活動

## 2030年ビジョン

### 「環境のわざ」と「パートナーシップ」を活かして 持続可能な経済社会の実現へ

企業が培ってきた環境のわざ(成果)を活かして、「脱炭素」・「資源循環」・「自然共生」を相互に協調させた「持続可能な経済社会」の構築を目指す。

- 活動方針
- 環境経営の実践と会員間の連携強化により、  
・産業界全体の更なるレベルアップを図る。  
・事業活動を通じた環境・社会課題の解決、  
技術革新、イノベーション創出を推進する。
  - 会員以外の企業や市民・学校等、地域との交流や情報発信により、  
環境行動の契機を提供する。



## 主な活動

### 環境経営分科会

セミナーや視察を通じて、環境問題に関する社会動向や関連法令、技術情報、企業の対応事例など、環境経営と環境管理の実務に役立つ情報を会員企業に提供しています。また、分科会参加メンバーの研鑽の場として勉強会を開催しています。



分科会参加企業での勉強会の様子

### 脱炭素分科会

カーボンニュートラルの実現に向けた社会の動向や、水素や再生エネをはじめとした先進的な取組を調査するとともに、省エネルギー技術など業種や業態の枠を超えた幅広い事例や革新技術の情報を発信し、会員各社のレベルアップと相互交流・連携の促進を図ります。



視察会での集合写真

### 資源循環分科会

勉強会や視察会を通じて、サーキュラーエコノミー、循環型社会形成に向けた社会動向及び先進事例等、資源循環に関する最新情報の共有を図ります。また、EPOC・分科会メンバーの自己・相互研鑽とパートナーシップの更なる強化を図ります。



視察会の様子

### 自然共生分科会

企業の事業活動全般を通じて生態系に与える影響の把握や生減への取組み、生態系から得られる便益の持続可能な利用に関する企業の取組みなどについて、セミナー・研究会・視察の開催を通じて会員企業の今後の取組みをサポートします。



視察会の様子

### 広報活動

活動成果を広く社会へ普及・展開するため、その成果をまとめた報告書等を配布しています。また、最新の環境関連情報やEPOCの活動紹介等をホームページで発信することで、社会に対する環境意識の高揚と環境活動の拡大を目指しています。



EPOC  
ホームページ  
www.epoc.gr.jp/

### 地域共生チーム

愛知県が主催する「愛知環境賞」にて、企業・団体などが行う先駆的で効果的な「技術・事業」や「活動・教育」の事例を愛知県、中日新聞社と共同で表彰しています。会員以外の企業など、地域との交流や情報発信を通じて、環境行動の契機を提供しています。



2026愛知環境賞表彰式

### 次世代交流チーム

小中学生などに代表される次世代層に対する環境啓発と環境教育を支援するため、会員企業が有する教育ツールや施設を活用した実践的かつ体験型の環境講座を運営するとともに、行政等との連携を通じた幅広い環境啓発活動に取り組んでいます。



会員企業による環境講座

### 海外チーム

海外における環境規制や動向に対する研鑽を深め、EPOC内外へその影響や対策ポイントなど有効性の高い情報を発信します。各分科会・チーム、企画活動、及び会員と連携し、海外に関連するイベント(セミナー、勉強会、意見交換会、海外研修生との交流会等)の企画を通じて、会員の海外活動・事業展開に寄与することを目標としています。



海外研修生との交流会

### 総会・理事会・幹事会

年1回開催される総会では、環境分野の有識者の方等をお招きし、環境への取り組みに係わる講演会を開催しています。また、年2回開催される理事会、幹事会ではEPOCの活動に関する中長期的な議論が活発に行われています。



総会



講演会



交流会

## 役員・顧問 2026年4月1日現在

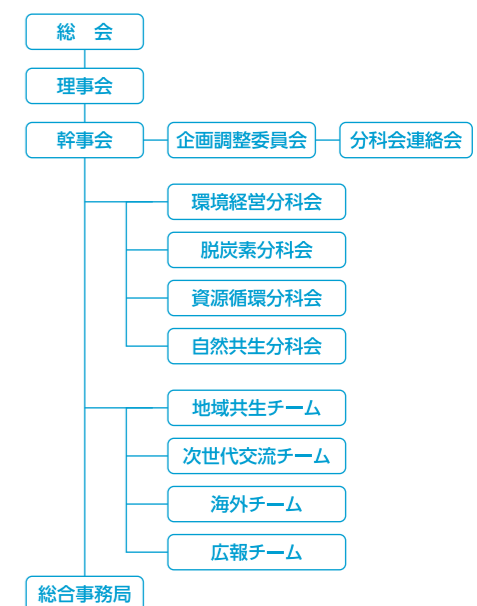
会 長	有馬 浩二	(株)デンソー	取締役会長
副 会 長	小林 茂 山崎 聡志 石橋 学 宮崎 洋一 池田 和史 佐々木 敏春	日本ガイシ(株) 東邦ガス(株) 東海旅客鉄道(株) トヨタ自動車(株) ブラザー工業(株) 中部電力(株)	代表取締役社長 代表取締役社長 副社長執行役員 代表取締役副社長 代表取締役社長 副社長執行役員
理 事	瀬下 睦弘 鹿 尾 信孝 中 根 幹夫 山 本 哲也 木 全 春彦 平 光 範之 前 田 智朗 佐々木 貴俊 井 哲秀 若 菜 康一 中 島 忠司	(株)アイシン (株)荏原製作所 新東工業(株) (株)ダイセキ (株)豊田自動織機 日本製鉄(株) ノリタケ(株) (株)日立製作所 富士通(株) 三井物産(株) リンナイ(株)	理事 中部支社長 取締役 常務執行役員 代表取締役 社長執行役員 執行職 常務執行役員 名古屋製鉄所長 専務執行役員 中部支社 支社長執行役員 エネルギーソリューション事業部 シニアディレクター 常務執行役員 中部支社長 常務執行役員
監 事	笠野 雅嗣 尾 堂 真一	岡谷鋼機(株) 日本特殊陶業(株)	取締役 代表取締役 取締役会長
顧 問	寺村 英信 松下 雄介 大 村 秀章 江 崎 禎英 一 見 勝之 広 沢 一郎 太 田 稔彦 谷 昌信 鈴 置 保雄 勝 野 哲	経済産業省 環境省 愛知県 岐阜県 三重県 名古屋市 豊田市 愛知工業大学 愛知工業大学 中部電力(株)	中部経済産業局長 中部地方環境事務所長 知事 知事 知事 市長 市長 工学部機械学科特任教授 工学部電気学科教授 代表取締役会長(前 EPOC会長)

総合事務局長 小坂 信之 (一社)中部産業連盟 専務理事

## 会員企業・団体

2026年4月1日現在 263社(者)

## 組織体制



# 環境パートナーシップ・CLUB (EPOC) 入会のご案内

## 🌐特典

- 異業種交流、産学官民交流を通じて環境諸活動に関するベンチマーキングを実践できます。(各企業、団体等の環境負荷低減活動の取り組み状況やその効果・成果等)
- 講演会、セミナー、シンポジウムなどを通じて、環境に関する最新の諸情報を得ることができます。
- 持続可能な経済社会の構築に関する調査、研究及び各種活動に参画していただくことができます。

## 🌐入会資格(一般会員・特別会員とも)

- 1. ISO14000シリーズの認証取得者
- 2. その他の国際環境規格と認められる規格の認証取得者
- 3. EPOC会員からの推薦のあった者  
ISO14000シリーズ等国际環境規格の取得に取り組んでいる者  
国際環境規格の取得を支援する者  
その他、環境負荷低減活動に熱意があると認められる者

## 🌐申込方法

- 入会の申込はホームページから入会申込書をダウンロードしていただき、必要事項をご記載の上、EPOC総合事務局まで送付ください。  
入会資格審査後、総合事務局より入会のご案内を差し上げます。

## 🌐会費

- 1. 会費(1年間)  
一般会員(企業・団体):5万円/口(税別)  
原則2口以上、ただし中小企業基本法に定める中小企業は1口以上  
特別会員(学識経験者、国・地方公共団体):無料
- 2. 入会金5万円(税込み)  
※ご入会いただきますと会員認定状を発行いたします。  
※入会資格及び脱会につきましては、EPOCの規約に則って審査いたします。